【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成25年1月31日(2013.1.31)

【公表番号】特表2012-511214(P2012-511214A)
【公表日】平成24年5月17日(2012.5.17)
【年通号数】公開・登録公報2012-019
【出願番号】特願2011-539746(P2011-539746)
【国際特許分類】
*Ｇ０６Ｆ　9/54　(2006.01)*
*Ｇ０６Ｆ　3/048　(2013.01)*
*Ｇ０６Ｆ　3/14　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　9/06　６４０Ｃ
Ｇ０６Ｆ　3/048　６５１Ｅ
Ｇ０６Ｆ　3/14　３１０Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成24年12月4日(2012.12.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１のネットワークノードにより、
複数の接続ルール(32)に基づくネットワーク接続の管理を含む動作を実行する機能を宣言するアプリケーションプログラミングインタフェイス（API）を発行し(34)、該複数の接続ルール(32)の各々が、仮想領域のそれぞれの指定と１つ又は２つ以上の接続ターゲットのそれぞれの指定との少なくとも一方を含み、
ソフトウェアアプリケーション(28)及びコンピュータデータファイル(30)の少なくとも一方における位置の定義を含む前記APIの呼び出しに応じて、前記位置の定義と前記複数の接続ルール(32)のそれぞれとの関連付けに基づいて該複数の接続ルール(32)のそれぞれを確認し、及び該確認された接続ルールにおけるそれぞれの指定に基づいて他のネットワークノード(16-20)とのネットワーク接続を管理する(38)、
という各ステップを含む、コンピュータにより実施される方法。
【請求項２】
前記管理ステップ(38)が、
前記ソフトウェアアプリケーション(28)と該ソフトウェアアプリケーション(28)が操作可能なコンピュータデータファイル(30)との少なくとも一方に関連付けられた接続ルール(32)に基づく該ソフトウェアアプリケーション(28)による前記APIの呼び出し、
前記ソフトウェアアプリケーション(28)の少なくとも１つの実行可能ファイルをメモリにロードし、該実行可能ファイルを実行すべく準備し、及び該準備された実行可能ファイルを実行することを含む操作を実行するローダオペレーティングシステム構成要素による前記APIの呼び出し、及び、
コンピュータデータファイル(30)をオープンすることを含む操作を実行するファイルマネージャオペレーティングシステム構成要素による前記APIの呼び出し
のうちの１つに応じて実行される、請求項１に記載の方法。
【請求項３】

前記管理ステップが、前記確認された接続ルール(32)における１つ又は２つ以上の接続ターゲットのそれぞれの指定を、少なくとも１つのそれぞれのネットワークノード接続ハンドルへと解決し(182)、及び該少なくとも１つのネットワークノード接続ハンドルのそれぞれに基づき前記ネットワーク接続を介して前記他のネットワークノードと少なくとも１つのリアルタイムデータストリームの転送を開始する(184)、という各ステップを含む、請求項１又は請求項２に記載の方法。

【請求項４】

前記確認された接続ルール(32)が、前記ソフトウェアアプリケーション(28)及び前記コンピュータデータファイル(30)の少なくとも一方に関して定義された対話空間における少なくとも１つのそれぞれのセクションの定義に関連付けられたものであり、前記管理ステップが、前記確認された接続ルール(32)に従って前記他のネットワークノード(16-26)との１つ又は２つ以上のリアルタイムデータストリームの転送を開始するステップを含む、請求項１ないし請求項３の何れか一項に記載の方法。

【請求項５】

前記対話空間に関するユーザの現在の焦点の定義を受信するステップを更に含み、前記確認ステップが、前記対話空間における少なくとも１つのセクションに関する前記ユーザの現在の焦点に少なくとも部分的に基づいて前記接続ルール(32)を確認するステップを含む、請求項４に記載の方法。

【請求項６】

前記１つ又は２つ以上の接続ターゲットの指定が、単一の通信者を識別する情報、１グループの通信者を識別する情報、及び少なくとも１つの通信者に関連付けられた役割の定義のうちの少なくとも１つを含む、請求項１ないし請求項５の何れか一項に記載の方法。

【請求項７】

前記接続ルール(32)が、１つ又は２つ以上の接続条件を更に含み、該１つ又は２つ以上の接続条件が満たされたというそれぞれの判定に応じて少なくとも１つのネットワーク接続を確立するステップを更に含む、請求項１ないし請求項６の何れか一項に記載の方法。

【請求項８】

前記確認ステップが、

ユーザの現在の焦点に基づいて前記ソフトウェアアプリケーション(28)及び前記コンピュータデータファイル(30)の少なくとも一方における位置の定義を判定し、

該判定された位置の定義と前記接続ルール(32)との関連付けに基づいて該接続ルール(32)を読み出す、

という各ステップを含む、請求項１ないし請求項７の何れか一項に記載の方法。

【請求項９】

前記管理ステップが、前記ソフトウェアアプリケーション(28)及び前記コンピュータデータファイル(30)の少なくとも一方における位置を記述するプレゼンスデータを前記他のネットワークノードへエクスポートするステップを含む、請求項１ないし請求項８の何れか一項に記載の方法。

【請求項１０】

前記確認ステップが、前記確認された接続ルール(32)において定義されている仮想的な場所の指定に基づいて仮想領域のインスタンス(56)を判定するステップを含む、請求項１ないし請求項９の何れか一項に記載の方法。

【請求項１１】

前記管理ステップ(38)が、前記ネットワーク接続を介して少なくとも１つのリアルタイムデータストリームの転送を開始し、及び該リアルタイムデータストリームを処理する、という各ステップを含む、請求項１ないし請求項１０の何れか一項に記載の方法。

【請求項１２】

前記管理ステップ(38)が、前記確認された接続ルール(32)における仮想領域の指定に基づいて該仮想領域のインスタンス(56)を判定し、該仮想領域のインスタンス(56)に関連付けられた１つ又は２つ以上のネットワークノード(16-26)を識別し、及び該１つ又は２つ

以上の識別されたネットワークノードのそれぞれに対する１つ又は２つ以上のリアルタイムデータストリームの転送を開始する、という各ステップを含む、請求項１１に記載の方法。

【請求項１３】

前記管理ステップ(38)が、前記確認された接続ルール(32)における少なくとも１つの接続ターゲットの指定を、少なくとも１つのそれぞれのネットワークノード接続ハンドルへと解決し、該少なくとも１つのそれぞれのネットワークノード接続ハンドルのそれぞれに基づいて前記他のネットワークノードとのリアルタイムデータストリームの転送を開始する、という各ステップを含む、請求項１１に記載の方法。

【請求項１４】

前記コンピュータデータファイル(30)が、ウェブブラウザアプリケーションにより提示されているウェブページであり、前記確認ステップが、前記ユーザの現在の焦点が該ウェブページ上にあるという判定に応じて実行される、請求項１ないし請求項１３の何れか一項に記載の方法。

【請求項１５】

前記ソフトウェアアプリケーション(28)が、１つ又は２つ以上の前記接続ルール(32)のそれぞれの組に関連付けられている複数のタスクを含み、ユーザの現在の焦点が該ソフトウェアアプリケーション(28)の該複数のタスクのうちの特定の１つにあるという判定に応じて、前記確認ステップが、前記確認された接続ルールにおけるそれぞれの指定のうちの少なくとも１つを、前記特定のタスクに関連付けられている１つ又は２つ以上の接続ルール(32)の前記それぞれの組から判定するステップを含む、請求項１ないし請求項１４の何れか一項に記載の方法。

【請求項１６】

コンピュータ読み取り可能命令を格納するコンピュータ読み取り可能メモリ(124,128)と、

該メモリに接続されたデータ処理装置(122)であって、前記命令を実行するよう動作可能であり、及び該命令の実行に少なくとも部分的に基づいて、

接続ルール(32)に基づき仮想領域のインスタンス(56)における少なくとも１つの接続ターゲットとのネットワーク接続を確立するコールを用いて、アプリケーションプログラミングインタフェイス（API）を呼び出し、該接続ルール(32)が、ソフトウェアアプリケーション(28)及び該ソフトウェアアプリケーション(28)が操作することが可能なデータファイルの少なくとも一方に関連付けられ、及び仮想領域のそれぞれの指定と該仮想領域に関連付けられた１つ又は２つ以上の接続ターゲットのそれぞれの指定とを含み、

前記仮想領域のインスタンスにおける位置に基づきネットワーク接続を介して前記接続ターゲットとの少なくとも１つのリアルタイムデータストリームの転送を開始するコールを用いて、前記APIを呼び出し、

該リアルタイムデータストリームから導出された人間により知覚可能な出力を提示する、

という各ステップを含む動作を実行するよう動作可能である、データ処理装置(122)と

を含む装置。